

コロナを乗り越えて、大学生協の価値をもう一度考える。……

仲田 秀

Email:nqb41457@nifty.com

法政大学大学院政策科学研究科後期博士課程 2014 年修了

◎Key Words 民主的意思決定、協同の文化、各々の主体的参加

表 累積赤字生協数の年度変化の割合 (1980年～2023年)

規模・種別	内容	1980年 年生協数	累積 赤字 協数	1998年 年生協数	累積 赤字 協数	2007年 年生協数	累積 赤字 協数	2009年 年生協数	累積 赤字 協数	2015年 年生協数	累積 赤字 協数	2018年 年生協数	累積 赤字 協数	2021年 年生協数	累積 赤字 協数	2022年 年生協数	累積 赤字 協数	2023年 年生協数	累積 赤字 協数
1	国公立30億円以上	7	0	7	2	7	3	7	3	7	2	7	3	5	2	5	1	5	1
2	私立30億円以上	4	2	4	4	4	3	4	3	4	2	4	2	3	2	3	2	4	1
3	国公立20億円以上	11	2	13	5	13	8	13	5	7	2	7	2	3	3	2	2	4	4
4	私立20億円以上	4	1	4	2	4	2	4		3	2	3	1	2	2	1	1	1	1
5	国立10億円以上	16	4	22	12	22	4	22	7	25	9	28	6	18	6	34	9	20	4
6	私立10億円以上	10	2	11	10	11	5	10	6	10	5	9	4	5	2	12	3	5	1
7	国公立5億円以上	20	5	20	8	22	6	22	6	26	11	23	10	29	15	20	5	27	1
8	私立5億円以上	12	1	19	13	19	11	19	11	17	9	19	7	16	7	10	4	13	4
9	国公立2億円以上	12	3	21	11	22	6	23	6	24	4	25	4	30	7	24	3	29	5
10	私立2億円以上	8	2	18	10	24	10	24	12	26	9	26	7	27	10	23	5	25	5
11	国公立2億円未満	4	0	20	12	31	8	33	8	24	4	26	5	29	11	26	4	29	4
12	私立2億円未満	5	0	27	22	33	15	34	20	37	19	37	13	44	19	44	11	45	10
	計	113	22	186	112	210	81	215	91	210	78	213	64	211	86	209	40	207	41
	累積赤字生協数の割合		19.5		60.2		38.6		42.2		37.1		30		40.8		19.1		19.8

注 大学生協経営資料 38号～150号 (2010.8)、大学生協連提供資料により作成した。

対象生協数は2009年現在で規模を分類し、この年までに合併、解散をした生協は該当年からはずされたので、その年度会員数とは一致しない。2009年迄の数表は [仲田 2014] P182 表4の2007年数値迄を使用し、2010年以降を3年単位にして加筆した。

2010年以降は経営資料が作成されていないため、大学生協連の方針は把握されていない。統計数値の提供を受けて3年単位で分析資料を作成した。

2010年以降は累積赤字は実質赤字を使用している。2012年～2018年は2021年PCカンファレンス論文集より転載、2019年以降は新たに作成している。

1980年から2023年までの大学生協事業を垣間見るために

この表は2022年の数値に2023年を加えたもので、23年カンファレンスの表に加筆したものである。1980年からの個別大学生協の経営状況を表したものである。全体数の中の累積赤字生協数の割合は、2023年は19.8%で、40年前の水準に戻っている。供給高規模で見ると5億円未満の生協数は4.4倍になっている。大学生協の自立的な協同的経営形態はうまく行っていると言えるのではなからうか。レイアウトの都合上、トップにおいた。

はじめに

今年はコロナを超えて、久々の大学を会場にしたPCカンファレンスである。大学生協がどっぷり浸かってつくったCIECなのである。大学の学舎を使って、年に一度の全国大会を実施するのは当然のことである。会場を受けることにしたその時から、都立大生協の理事会は、学内の構成員に向かって呼びかけ、様々な生協への参加形態を求めている。

筆者は、このカンファレンスの立ち上げに事務局として関わり、退職後は、大学院に進み、大学生協とは？その大学生協が持続的に発展する肝は何かを研究してきた。

今年は、大学生協第67回総会議案書を見て、考えることをまとめて分科会に参加する。

「会員再生計画」というのはコロナで壊された大学生協の組織と事業を復活させる取り組みで大学生協の設立運動に匹敵する総合的ものだと思っている。大学生協の価値を構成員が探求し組み立て直す良い言葉である。筆者は今、第67回総会議案書に目をとおり、この文章を書いている。先ほど東大工学部都市工を3月に卒業したばかりの姪っ子の子が、明日締め切りだと焦ってる私のもとを訪ねてきて、筆者の「大学生協の持続的発展について——大学生協における理事会のリーダーシップと経営業績」を抱えて、「大叔母ちゃんがんばってね！」と言って帰って行った（今年は押し詰まって拙い論文にならない。でも、数字もあるし参加するために書き込む）。馬術部の時代に東京で立ち話をして以来の出会いで、東大生協でお世話になった子である。つながりは時間と空間を超えている。

2023 年活動について

2023 年の活動方針は4つである。それは、

①**組合員が参画する場づくりは：「組合員・大学が必要とし、組合員が参加したくなる大学生協づくり」**で、／・組合員の要望を（一言カードやアンケートで）聞く。／・総会・総代会の基本組織で生協職員と総代（組合員）が分科会等で大学生協の現状と自分自身の生活を見つめ大学生協に期待する事を出し合う。／・全国大学生協連で提案されていた「会員再生計画」が、各生協理事会での議論を経て多くの会員生協で作成された。／・その過程で、総代（組合員）との日常的つながり作り、それぞれに対する大学生協の価値、組織委員会活動の回復が進んだ。

②**健康安全は：「組合員の生活実態を把握し、組合員同士が助け合う取り組みをとうして、健康で安全な大学生生活を実現する。」**／・2022 年より多い 118 大学生協で給付事例学習会が行われ、大学や地域生協とのつながりが広がる例も出てきた。／・現状分析で、組合員の健康で安全な生活を守る活動の復活／・学業とバイトの両立困難解決への地域協力／・たすけあい奨学制度への団体賛助会員数は 177 団体、大学法人の参加も始まった。／・コープ共済連への事業譲渡後 1 年、大学生協と地域生協の懇談会が 41 都道府県で行われた。／・★課題は保健管理施設や学生支援課等との連携、日常的な加入、給付、報告、予防の四本柱を進める、地域生協との連携、助け合い奨学金制度への共感を広げる。

③**これからの学びと成長では：「変化する組合員の学び方や大学の学習支援について把握し、仲間とともに自己実現、成長する機会づくりをする」**／・組合員の生活実態の見直しによる商品提案のチェック／・講義を行う先生、大学との協議を強化／・SEQ（就職支援？）講座に卒業生の声を届けて、自分の未来を考え、必要な学びを組合員自身が自分で考えるきっかけ作りにつながった。／・学習だけに限らず、生活をより豊かにする講座や旅行を回復させてきた。／・★就職活動の悩みに寄り添える大学生協を目指す。

④**社会をつくるでは：「持続可能な社会実現に向けて、組合員の視点で知り、知らせ、考え、話し合い、行動するきっかけ作りを行う」**／・ロシアによるウクライナ進行で物価高騰／・消費者意識と社会問題／・学内団体や地域生協からのつながりで学習も／・★課題は社会的課題解決に向けて活動している学生団体と協力して学生の想いを必要で合意できるなら発信できるといい。

2024 年度の方針は

2023 年度の 4 つの活動方針に、3 つの重要な視点（横軸）が加わっている。その 3 つは ①**大学生協の価値を大学と共に考える** ② **組合員にとって身近で組合員とともにつくる店舗（購買、食堂）**である。③**大学生協で**

生き生きと活動できる組織づくりとなっている。

ここでいくつか課題を呈する。一つは、大学生協の価値は大学にとってだけではない、大学にとってと考えている組合員にとってどうかということを考えておくことが前提であり、そのことが主体的参加として重要である。

二つには自分たちの店と思えること、三つには、生き生きと活動できるとということは、民主的に動き、協同して作り上げる文化があるということであろう。視点については、今後創意もって、総意で、詰めて行くべきであろう。

おわりに

定年後の 20 年間の筆者の産物として、大学生協の経営組織論を追いかけてきた。そして、コロナ後の大学生協を追いかけたかったが、足にも故障が出てきたので、夏の PC カンファレンスレポートはきつい。引かせていただく決心をした。ただ、組織委員会は組合員代表という意識を持った大学生協の基礎組織であるという一面が発揮された時、活発な主体的社会活動にも力を発揮することを強調しておきたい。

みなさま、ご協力ありがとうございました、

参考・引用 文献

全国大学生生活協同組合連合会 2023. 12. 16 第 67 回通常総会議案書
仲田 秀 「大学生協の持続的発展について——大学生協における理事会のリーダーシップと経営業績」（2020. 7）「